

# 平成23年度 第1回事例検討・報告会発表者募集

(現職者共通研修⑩「事例報告」)

(社)沖縄県作業療法士会では、今年度第1回目の事例検討・報告会を開催いたします。  
今回、事例報告・報告会の発表者を募集します。

発表希望者は同封のFAX用紙に必要事項を記載の上、**8月8日(月)正午までに**、教育部土田(沖縄リハビリテーションセンター病院)までお申し込みください。発表の詳細は下記をご参照ください。

## 記

1、開催日：平成23年10月2日(日) 9:00—(3時間程度の予定)

※講師の都合や発表人数により変更の可能性もあります。

2、会場：応募数によって調整します(沖縄本島中南部で会場調整いたします)

(正式決定後、応募者に通知するとともに、事例検討への参加者を募る案内に明記いたします)

3、レジュメの提出期限は9月22日(木)といたします。提出方法は申込者に改めて通知いたします。

レジュメの書式、発表方法などは下記をご参照ください。

レジュメ	発表機材	発表時間
内容は以下のとおりとします。 【報告の目的】200字以内 【事例紹介】400字以内 【作業療法評価】600字以内 【介入の基本方針】200字以内 【作業療法実施計画】600字以内 【介入経過】800字以内 【結果】500字以内 【考察】700字以内。 フォント・段組等の規定はありません。用紙はA4を用いてください。	機材使用なし レジュメのみで発表します	発表10分、質疑応答・ド パ10分 (レジュメの全文字数を 読み上げると時間がない 場合は、割愛しながら発表 してください)

レジュメの書式は「日本作業療法士協会事例報告登録制度」になっています。各項目の記載内容は日本作業療法士協会ホームページの、事例報告登録制度の項目をご参照ください。

なお、対象者から同制度の同意書を頂いておくと、上記事例検討が終了後、文章を修正し、同登録にスムーズにつながられます。

4、受講料 事例検討のみ(聴講のみ):1,000円、事例検討と事例報告(聴講と発表):2,000円、事例報告のみ(発表のみ):1,000円

5、**事例検討参加者(現職者共通研修⑩「事例検討」)の募集は、後日参加案内をお送りします。**なお、発表者も他の発表者の討議に参加することで「事例検討」の受講認定が得られます。

問い合わせ先:(社)沖縄県作業療法士会教育部 土田真也(沖縄リハビリテーションセンター病院)

※基本はメールをご利用くださいE-mail: okiotakyouiku@yahoo.co.jp (携帯からも可)

FAX送信用紙 (098-) 982-1788

沖縄リハビリテーションセンター病院 5階メディカルホールはいさい 作業療法士 土田真也 宛

平成23年度第1回 現職者共通研修⑩ 「事例報告」申し込み

●私は下記の通り、10月2日の「事例検討・報告会」での発表を希望いたします。

会員番号		会員氏名	
所属			
23年度協会・県士会費を納入していることを確認して右欄に丸をつけてください→			
演題タイトル(仮)			
発表事例の主な診断名			
発表事例の主な症状	(例：麻痺、筋力低下、注意障害、対人交流技能の低下、耐久性の低下、易怒的、異食など)		
主な報告のポイント(複数可)	(例：身体機能の改善の練習方法、ADL 動作の獲得練習方法、退院調整の工夫、福祉用具の導入、職業適応訓練、〇〇に対する治療、家族の教育と支援 など)		

※ 上記情報は、アドバイザーの選定の参考に使います。現時点で書ける範囲のご記載をお願いします。

※ その他連絡事項がありましたら下の余白をご利用ください。